

## 令和2年4月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

令和2年4月の業種別景況の前月比DI値は14業種の内、好転が1業種、前年同等が6業種、悪化が7業種で、全体の景況感DI値は3月よりも悪化し、リーマンショック発生時の水準に近づきつつある。

新型コロナウイルス非常事態宣言後の自粛等による影響が大きく、生産調整や臨時休業等から、すべての業種で売上減少や収益の悪化、資金繰り悪化の報告があった。

山口県の中小企業は、新型コロナウイルス収束の長期化も見込まれ、今後の見通しが立たない中、事業継続を不安視する声もある。

### 山口県の主要指標 DI 値 (令和2年4月末現在)

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転： 0.0% 悪化： 63.8% DI 値： ▲63.8% ポイント

売上高 ( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )

前年同月比は、増加： 5.0% 減少： 65.0% DI 値： ▲60.0% ポイント










収益状況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転： 2.5% 悪化： 63.8% DI 値： ▲61.3% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (令和2年4月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲77.8	▲33.3	▲66.7	▲100.0	▲50.0	▲50.0	▲50.0	▲60.6
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲60.0	▲100.0	▲100.0	▲81.8	▲18.2	▲71.4	0.0	▲66.0	▲63.8
								

## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	新型コロナウイルスの影響により、業務用、学校給食他に納入している業者は、売上が減少している模様。	調味料製造業
	4月に入り、県内全域、より厳しい状況となった。最も売上減少の激しいところは前年同月比▲80%。一方で、自宅で消費する和洋菓子とネット販売が微増しているが、進物の需要がないので収益が悪化している。公共交通機関売店は壊滅的であるが、スーパーへの卸は不変である。イベント頼みの組合員は仕事がない。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	新型コロナウイルスの緊急事態宣言の影響で、休校が引き続いているため、学校給食が主体の企業では売上が大幅に減少している。5月も同様に続く見通し。	パン・菓子製造業 下関市
	4/24現在の売上は対前年同期比▲35.9%。新型コロナウイルスの影響で、ほぼ県外客の利用が皆無となり、飲食、土産関係が非常に厳しい。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月25日～5月6日の大型連休期間は全館臨時休業とした。7月予定の「萩の瀬付きあじ祭り」も中止と決定。	水産食料品製造業 萩市
	近年、水産業界は厳しい状況が続いている。今回、新型コロナウイルスの影響をもろに受けて、水産加工業界は強い危機感を持っている。	水産食料品製造業 長門市
	4月に入って新型コロナウイルスの影響で外国人技能実習生の出入国が出来なくなったため、人員の確保が必要となった組合員もあった。業種によってはこれから状況が厳しくなる組合員も出てくる可能性がある。	水産食料品製造業 下関市
	新型コロナウイルスの影響で売上が減少。	
	新型コロナウイルスの影響はまだこれから大きくなると思われる。観光土産関係は深刻だが対処のしようがなく、感染者を出さないようにするしかない。消費は大きく落ち込むと感じる。	精穀・製粉業
4月は、新型コロナウイルスの緊急事態宣言により自粛ムードが広がり、記録的な不況となった。また、今後の経済活動も本当に厳しいことが予想される。厳格かつ適正な免疫対策を講じることで、経済活動との両立を図る出口戦略も重要となる。		
繊維工業	中国人の技能実習生8名（2法人各4名）が3月30日に来日予定だったが新型コロナウイルスの影響で未だに来日出来ず、派遣会社からは何時になるか分からないとの事。新型コロナウイルスの影響で、主要取引先の休業により販売量が減少し在庫の増加したことにより、6月以降の受注量が大幅に減少する見込みであ	下着類製造業

	<p>る。長引けば操業調整を検討しなければならないことも予想される。</p>	
	<p>昨年の展示会分の受注が5月まではあるが、6月以降は展示会が開けず、受注の見通しが立っていない。インターネット販売は良好だが、デパートなどの店頭販売は不調。長期化すれば事業所が消滅する。</p>	<p>外衣・シャツ製造業 山口市</p>
	<p>ゴールデンウイーク前に、外国人技能実習生に外出の自粛を求め、「命を守る」を合言葉にこの難局を乗り切りたい。</p>	<p>外衣・シャツ製造業 山陽小野田市</p>
木材・木製品	<p>新型コロナウイルスの影響がこんなに大きいとは思わなかった。取引先である建築業者の工事延期や一時中止等が相次いでおり、業界の小売、卸売業ともに大変厳しい状況である。</p>	<p>製材業・木製品製造業 岩国市</p>
	<p>新型コロナウイルスの影響を受けると思われるが、今のところ不明。</p>	<p>製材業・木製品製造業 山口市</p>
	<p>新型コロナウイルスの影響で、建設業者等のサプライチェーンが寸断され契約ができない状況にあり、それに連鎖して製材の発注が大幅に減少している。現状が長期化すれば資金繰りが悪化し、廃業に追い込まれる組合員が増えてくる。</p>	<p>製材業・木製品製造業 下関市</p>
印刷	<p>新型コロナウイルスの緊急事態宣言の発令により、全国的にイベント、会合等の軒並み中止の流れとなっている。印刷業界では、特にチラシ等を中心に手掛ける業者への影響が深刻になりつつある。収束する見込みも未だ不透明であり、今期の決算への打撃は必須となる見通しである。</p>	<p>印刷 下関市</p>
	<p>官公庁ではマスクをしないと入札に参加出来ない。従業員にマスクの徹底をさせようにも、どこにも売っていない状態で困っている。売上は、ホテル、飲食店等が軒並み休業となり、受注はなく、従業員も遊んでいるので、土曜日全休や、平日も休みを取らせる方向で調整中。</p>	<p>印刷 山口市</p>
窯業・土石製品	<p>(令和元年4月) 骨材 120%、路盤材 86%、再生材 122% ↓ (令和2年4月) 骨材 98%、路盤材 89%、再生材 109%</p> <p>4月初めでは新型コロナウイルスの影響はあまりない様子であったが、現状では建設業者に新型コロナウイルスの影響がかなり出ている様子で、今後、砕石業に影響がありそうで不安視している。なかなか県の資材単価が上昇しない。</p>	<p>砕石製造業</p>

	出荷量は、前月比 99%、前年同月比 100%。令和元年度の出荷量は 930 千 m <sup>3</sup> 、対前年度比 102%。現時点で、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業
	新型コロナウイルスの感染者が県内の比較的近い場所を出ると、改めて現実を感じる。言われている『3密』についてはどの業界でも共通する事だが、我々の業界では接客時に、より一層の注意が必要である。工場での加工や現場での設置作業については比較的“密”になることは無いが、万が一を考えて注意しながら作業にあたりたい。	石工品製造業
	新型コロナウイルスの影響で、萩市内の観光客は皆無。小売店の売上は 90% 以上減少したところもあり、営業自粛している店舗も多くみられる。5月1日～5日の萩焼まつりが中止、また夏から秋にかけてのイベントも相次いで中止になってきている。関東・関西の陶器店・百貨店などの卸売がストップ。結婚式などの引出物のキャンセルも相次ぎ、多くの窯元では製造調整、あるいは休止をしている。従業員を多く抱える事業所では、出勤者数を減らすなどして対応しており、終息が長引けば人員整理や組織の見直しなど行っていかなければならない状況。組合では、インターネット販売に活路を見出すべく、萩焼まつり期間中に e-萩焼(萩商工会議所運営ネット販売サイト)の一部を間借りし、萩焼の特別企画販売を実施。また組合独自のネットショッピングサイトを新規に立ち上げるべく、急ピッチで準備を進めている。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	新型コロナウイルスの影響で、建設業や縫製業で休業している組合員もある。	岩国市
	例年4月は全体的に仕事量が少ない月で今期も同様であるが、先月に比べると売上が下がっている企業が多い模様。新型コロナウイルスの影響で一部の材料の入荷が危ぶまれたが、影響はほとんど無く、建設業の組合員の影響は出ていない。だが、この先に計画されている工事案件などの中止、延期を考えている発注先が多い模様で、今後の2～6ヶ月の間に影響が出てきそうである。	下松市
	新型コロナウイルスの影響により、企業経営は大きなダメージを受けている。自動車メーカーが、一定期間、稼働停止しているため、当組合の下請け企業がその影響を受けている。鋼構造物製作の企業も6月以降の見通しが難しい。	防府市

	<p>新型コロナウイルスの蔓延による影響から、製造業、食品加工業において事業縮小が認められる。機械検査、機械塗装等一部業種においては採用に躊躇する傾向がある。組合員全体では現段階で大きな混乱は認められないが、今後の展開は予断を許さない。なお、技能実習生の入国、帰国に支障が生じており業務のスケジュール調整に苦慮している。介護職については引き続き要望が多い。</p>	宇部市
	<p>新型コロナウイルスの拡大に伴い、5月以降の受注の見通しが立たず、不安要素が多い。</p>	
輸送機器	<p>新型コロナウイルスの影響が、全体的に少しずつ出てきており、今後への不安は大きくなりつつある。鉄道車両は、輸出案件（台湾特急）の日程が変更となり仕事量が減少。半導体も高い作業量水準が継続しているが2交代の出社となり効率が低下。今後、日程が変更される可能性がある。中国から輸入品している製造部品の一部で入荷が少なくなっており、部品、材料の調達が遅れ、納期が遅れる可能性がある。取引先の新型コロナ対策感染拡大防止策で入場制限等が行われ、従来よりも納品に時間がかり効率がダウン。日立プラントメカニクス再編による業務移行の準備、打ち合わせ等の遅れ。人手不足と働き方改革への対応が懸念される。原材料価格の上昇とその他経費の増加が継続している。</p>	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	<p>新型コロナウイルスの影響を大きく受けることなく、順調に推移している。</p>	乾物卸売業
	<p>新型コロナウイルスにより売上は激減。閉店に追い込まれる店も出てくるであろう。組合として賦課金の免除や家賃の値下げ交渉などをおこなった。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>新型コロナウイルスの影響で、ホテル、飲食店等への納入減で売上が減少、収益も悪化。また、資金繰りに苦慮している。</p>	各種商品卸売業 山口市
	<p>新型コロナウイルスの影響で広告関連の組合員企業では、広告が大幅に減少。イベント、飲食など集客が目的である広告は全てキャンセルとなった。</p>	各種商品卸売業 下関市
小売業	<p>新型コロナウイルスの緊急事態宣言の影響で、県内の組合加盟店の売上はより厳しい状況となった。イオンやゆめタウンなどテナントで入っているお店は閉店せざるを得なく、組合としては助成金他の案内をしている。路面店も宣言が出るまではお客が流れて来たそうだが、外出を控えるようになり、売上も下がった。メーカーからの美容部員の派遣も止まっているので、どちらにしても悪循環である。</p>	化粧品小売業
	<p>新型コロナウイルスの影響で、3、4月の展示会等各種イベントがバスでの移動もあるため行えず、売上が</p>	農業用機械器具小売業

	大幅に減少。	
	例年ならミニイベント等により売上がUPするが、今月は全て中止したため売上減少。	機械器具小売業
	もはや説明するまでもないコロナショックはさらに深刻化。中には廃業や倒産に至る噂まで聞こえてきて、商店街や小売りの商業界は暗澹たる様相。行政等の支援策に頼るしかない風潮は加速し、飲食業に偏った支援内容など、政府や行政に対する不満不平も爆発寸前のところまで緊張が高まっている。店主や経営者の心理的な不安が混乱を掻き立てるなど、今後は資金繰りだけでなく、心理的ケアも必要になるかも知れない。何一つ良い材料が無いまま悪化する市況に、ひたすら耐えて我慢するだけの日々が果てしなく続いている。テイクアウトの流行も利益構造がまったく異なり、実質的な利益や救済には遠く及ばず、参加者の気持ちを励ますためのイベントのようなもの。むしろ黙って休業する者の声を聞かなければならない。商店街への給付金支援策は無く、商店街独自で実施した。	各種商品小売業 岩国市
	J R 駅周辺を中心に構成している地域の商店街でもあり、不要不急の外出自粛により駅利用者が激減し、一般来街者もほぼ100%減少。業況は悪化している。	各種商品小売業 周南市
	新型コロナウイルスの影響で商店街内の来街者数が激減している。食品を扱っている加盟店でも売上が減少してきており、このまま長引くと厳しい状況である。	各種商品小売業 下関市
商店街	世の中の動きに関わりなく当商店街の客足は低迷している。地方の商店街は構造的に不況の業態であろうと思われる。	宇部市
	商店街は閑散としている。先の見えない状態で今は耐えることしかなく、手立てが無いと商店主は話す。補助金・給付金等あるが返済を伴う借入れは、商売を継続することが死活問題となると言い、どこの店も大変である。	萩市
サービス業	新型コロナウイルス感染者の所在地が近ければ近い程、我々の業界では来店数に影響が出てくる様子で、年配の客層が多い店ほど、来店の頻度が落ちている模様である。全体的に非常事態宣言が出てから落ち込んでいる。	美容業
	新型コロナウイルスの緊急事態宣言後の外出等の自粛により、売上減少。	理容業
	整備工場経営者の高齢化が進む中で、本年度に整備工場を廃止したところは県内で21工場にのぼり、5年前には1162工場あったものが1115工場まで大きく減少してきている。また、本年4月に「改正道路運送車両法」が施行されたことを受け、先進安全装置を装着した車の整備に対して、新たな認証制度が設けられ、今後、整備工場に見切をつけるところが益々増	自動車整備業

	加してくることが予想される。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大が新車販売の大幅な減少をもたらし、業界にじわりじわりと影響が出始めており、先行きが見えない中で不安を煽られている。	
	新型コロナウイルスの影響でスイミングスクールは休校となり、被害甚大。スポーツジムは危険スポットになってしまっている。入会者が非常に少なく、今後の回復は新型コロナウイルスの収束の状況次第である。	スポーツ・健康教授業
	新型コロナウイルスの影響で、状況が悪くなっている。前年同月比で売上が大きく落ち込んだものの、春の衣替え需要があるので何とか経営できている。しかし、衣替えが終わると大きく落ち込むと予想され、資金繰りに影響が出てくる懸念がある。業界では30～40%売上が減っているところがほとんどで、先を見据え余裕資金として融資を受けたいと考えている。なお、近隣の飲食店は大きく打撃を受けている。	普通洗濯業
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため営業自粛。5月ゴールデンウィーク明けまで、臨時休業。	飲食業
	新型コロナウイルスの影響で、JR券の売上は、まだ未報告の会員もあるが、前年同月比97%の減少。	旅行業
	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、キャンセルが続出。対前年同月比で宿泊客、売上とも8割強減少した。	旅館業 山口市
	新型コロナウイルスの影響で作業者の宿泊が主となり、今後、作業者の宿泊が終わると宿泊者はほぼゼロとなる見込み。	旅館業 下関市
	新型コロナウイルスの影響による入浴者数の減少が続く、売上が前年比の50%減少となった。飲食部門は新型コロナウイルスの対策で休業にした。資金繰りが厳しく新型コロナウイルス対策融資及び雇用調整資金等の申請中である。雇用についても継続が困難な状況である。	旅館業 長門市
建設業	中電への工事申請113件(当支部96件)、前年同月103件(同89件)。太陽光発電への申請23件(前年18件)、オール電化申請54件(前年42件)。LED街路灯への切り替え・新設申請15件(前年30件)であった。	電気工事業
	工事が減少している中で新型コロナウイルスの感染による建設現場の閉所を危惧している。今年度より高校新卒に対する求人競争が緩和されると思われる。	左官業
	年度変わりのため、4月の入札等はない。官工需が中心であるためコロナウイルスの影響は今のところ無いが、今後は民間工事の減少や感染による工事中断等が予測されるので不安な面がある。	管工事業

	全国を対象とした新型コロナウイルスの緊急事態宣言により、3密に配慮し、集会等の自粛が実施され、組合事務局への来訪者も減少。	土木工事業 柳井市
	2年4月の受注高は、対前年同月 111.6%。今年度の累計は、対前年比 125.9%。	土木工事業 萩市
	今のところ、新型コロナウイルスの影響はないが、感染拡大防止の観点から、県発注土木工事については、「工事情報共有システム」を活用する。	土木工事業 長門市
	4月に入り新型コロナウイルスの影響が少しずつ出てきた模様。大企業の操業停止や自宅待機等が家庭の収入減少につながり、購買意欲を低下させている。住宅メーカーも現場工事を中断するところも出てきている。	屋根工事業
	新型コロナウイルスの影響が大きく「見積が少ない、案件の動きが鈍い、予定案件の延期・中止が発生している」等の声があり、先行きに不安を感じている組合員が多い。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	新型コロナウイルスの影響で、工場からの出荷を停止する措置が取られるケースがある。特に関東方面からの帰り荷が激減している。	一般貨物自動車運送業 岩国市
	輸送関係は新型コロナウイルスの影響で全体的な輸送物資の減少はあるものの、長、中距離輸送では前年同月比で約8%の“プラス”となった。燃料費が大きく値下げとなったものの全体的な輸送物資の減少は、中、小輸送業の経営を一層厳しい局面に立たせることとなりかねない。ドライバーは一日交代の勤務となり、給料面で労使ともに難局に立たされている状況。燃料費は10円の値下げ。	一般貨物自動車運送業 下松市
	新型コロナウイルスの影響で、4月の組合輸送取扱高は前年同月比で半減する見通し。5月に入っても取引先自動車メーカーの生産について操業調整は続く模様である。明確な数字は発表されていないが、生産2ラインの内、1ラインは日勤のみ、残り1ラインは日勤が数日、夜勤はいずれも操業されない見通し。組合倉庫の保管事業については、今のところ影響はない。	一般貨物自動車運送業 防府市
	新型コロナウイルスの影響で人とモノが動かない状況が続いており、荷物の輸送案件は大幅に減少している。特に製造業の顧客等の落ち込みが大きく、間接的な影響が出ている。先の見えない状況に業界、社内に不安が広がっている。	一般貨物自動車運送業 宇部市



	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲53.7%（令和2年3月1日～令和2年4月20日分。3月1日～31日分は▲44.3%、4月1日～20日は▲68.8%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。3月分については、周南▲46.4%、下松▲55.0%、光▲60.9%、防府地区が▲38.0%で、組合員の全域では▲47.5%、地区外（員外）+12.5%（2月分が3月に到着受託）、合計▲10,177千円だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが下がり（前月512.5\$/トンが今月360.0\$/トン、前年527.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油も下がり（前月510.0\$/トンが今月342.0\$/トン、前年429.0\$/トン）。為替も円高（前月110.98円/\$が108.528円/\$）。燃料単価は前月より13.9%下がり、前年4月分比は▲15.0%と大幅に下がった。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）こともあって慢性的に不足していたところに、新型コロナウイルスの影響で需要が激減し、企業は乗務員募集を取り下げている状況で、歩合給が減少するため、乗務員が貨物輸送業などに転職することが懸念されている。令和2年2月1日から、タクシー運賃の改定が認可され、運賃単価は7%程度上昇したが、3月になって新型コロナウイルスの影響が顕著になり、企業の出張、移動、会合がなくなり、夜間の飲食や宿泊など、タクシーの利用が激減する事態となっている。山口県はまだ医療崩壊になっていないが、今後、感染が拡大してくる可能性が高く、多くの産業経済への影響が大いに懸念される。まず人命健康が第一。経済の方は復興を信じて、助成金等でしのぐしかない。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>取扱量は対前年比でほぼ横ばい。5月は取扱量が減るのではないかと危惧している。</p>	港湾運送業 山陽小野田市
その他	<p>新型コロナウイルスの影響が、組合員(医療関係・介護関係)にも多かれ少なかれある様子。今回の件で今後の諸外国の技能実習生受入に際し、心配な部分もあり組合としても慎重に対応を進めている。</p>	介護事業